

平成 29 年 1 月 26 日

各 位

会社名 明星電気株式会社
 代表者名 代表取締役社長 高田 成人
 (コード：6709、東証第二部)
 問合せ先 取締役財務部長 羽根木 武
 (TEL. 0270-32-1105)

当社の親会社 株式会社 I H I
 代表者名 代表取締役社長 満岡 次郎
 (コード：7013、東・名証第一部、札・福証)

通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 1 月 26 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年 11 月 1 日に開示した平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想および配当予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 連結当期純利益 |
|------------------------------|--------------|------------|------------|---------------------|-------------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 7,900 | 百万円 230 | 百万円 220 | 百万円 120 | 円 銭 0.90 |
| 今回修正予想（B） | 7,200 | △250 | △260 | △400 | △3.01 |
| 増減額（B－A） | △700 | △480 | △480 | △520 | |
| 増減率（％） | △8.9 | - | - | - | |
| （参考）前期連結実績 （平成 28 年 3 月期） | 8,454 | 111 | 114 | 172 | 1.30 |

2. 業績予想修正の理由

当社の主力事業であります気象防災事業は、官公庁向け更新需要の端境期にあり、従来からの気象防災関連機器事業、IHI 連携による水管理事業に加え、超高密度気象観測システム「POTEKA」、新型ゾンデ「iMS-100」等の新たなサービス、製品をもって、民間、海外への展開も重視した受注活動を進めてきました。しかしながら、こうした活動により一部受注成果も出てきておりますが、競争環境も激化していることから、計画していた受注金額を大きく下回る見込みとなりました。これにより、売上高が前回予想値を下回る見込みとなったほか、売上減少に伴う利益減、年間操業時間の減少による操業差損の発生、宇宙防衛事業の開発案件や火山観測関連工事等でのコスト増、過去の納入品での不具合対策費用の発生などにより、営業利益、経常利益の見込みについても前回予想値を大きく下回ることとなりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益の悪化に加え、一部繰延税金資産の取崩による税金費用の増加を織り込んだことにより、前回予想値に対して大幅に悪化する見通しとなりました。

こうした状況を踏まえ、平成 28 年 11 月 1 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期の連結業績予想を修正いたします。

3. 配当予想の修正

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------------------|--------|--------|--------|----|----|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回発表予想 | — | — | — | 1円 | 1円 |
| 今回修正予想 | — | — | — | 0円 | 0円 |
| 当期実績 | — | — | | | |
| (参考) 前期実績 (平成28年3月期) | — | — | — | 1円 | 1円 |

4. 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への安定的な利益還元を最重要課題であると認識し、市場環境の変化に耐え得る強靱な経営基盤の確立と財政基盤の強化を図りつつ、収益状況を勘案しながら利益配分をすることを基本方針としております。しかしながら、先に述べた当期の業績予想を踏まえて、誠に遺憾ながら、期末の剰余金の配当については、無配の予想とさせていただきます。

【業績等の予想に関する留意事項】

本資料における業績予想は、発表日時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって業績予想と異なる場合があります。

以 上